

平成 25 年 3 月 8 日

選手強化委員会

審判講習会での質問に対する回答

平成 25 年 2 月 24 日に開催された審判講習会の席上で以下の質問がありましたので、回答いたします。

質問内容：

危害予防のために、選手への指導として、銃を構えたときは引き金を引く人差し指は銃のストックに伸ばしてあてておき、狙いこみに入ってからトリガーガードに指を入れると指導しているが、先日のファーニックコーチがジュニアを指導した際は、トリガーガードに指を入れて構えるようにと指導していた。安全の問題もあるので、この点について確認したい。

回答：

ファーニックの講義内容を確認しました。

銃をライフルレストに乗せて、標的に向けて構え始めたらトリガーを引く指はトリガーガードに入れ、かつトリガーには指がかかっていない事が望ましい。ストックに指をかけたまま構えることはしない。

理由は、指の緊張を避けることと撃発のタイミングを早くするためである。トリガーウエイトが軽いので、トリガーに不用意に触れて暴発しないように十分に注意することは当然である。

以上、よろしくお願ひいたします。